

田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)及び庄内中高一貫校(仮称)に係る保護者等説明会
参加者アンケート結果 鶴岡市会場 (回答者 51 名/参加者 111 名=回答率 46%)

◆ 参加者の居住地

鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	その他	無回答	合計
49名	0名	0名	2名	0名	0名	0名	51名
96%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	

◆ 参加者の立場(複数回答可)

幼稚園や保育園に通う子どもの保護者として	小学校に通う子どもの保護者として	中学校に通う子どもの保護者として	その他	無回答
22名	26名	7名	7名	0名

◆ 参加者の理由(複数回答可)

「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」の内容を詳しく知りたかったから	「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」に意見を述べたかったから	「庄内中高一貫校(仮称)」の内容を詳しく知りたかったから	「庄内中高一貫校(仮称)」に意見を述べたかったから	その他	無回答
32名	3名	38名	2名	1名	0名

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
9名	32名	1名	2名	7名	51名
18%	63%	2%	4%	14%	

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」についての主な意見・感想

- 多くの高校が再編される予定であることを知った。今後入学を控えた子ども達が不安にならないように再編を進めてほしい。
- 子どもの数が大きく減っているので、再編はやむを得ない以上、早く計画を進めてほしい。
- 周辺に多くの選択肢をもつ地域と異なり、選択肢の少ない当地域において、適切なのか不安である。
- 計画の内容はある程度理解できたが、なぜそのようにする必要があるのか疑問に思えた。
- 地域の進学校が減ってしまい、田川地区の学生の受け皿が減ってしまうことはおかしい。田川地区から酒田市へ通うことも可能にしてほしい。
- 少子化に対応した素晴らしい計画だと思う。
- お金がないと入れない高校は作らないでほしい。今回、意見をとって出た内容は、一部の人のみではなく、大勢の人が考えている。もっと真剣に受け止めていただきたい。
- 鶴岡中央高校、加茂水産高校、庄内農業高校の統合により、学科間の連携が可能になるこ

と、6次産業化の学習の可能性が広がることは地域にとって期待が大きいと思うが、学科間の連携・地域とのつなぎ役となる教員の力量・地域との人脈が非常に重要になると思う。教員も積極的に外に出て、地域とのつながりを深めてもらいたい。

- 鶴岡中央高校から実習地に移動する時間は授業時間に入るのかどうか気になる。授業時間に入るのであれば、学ぶ時間が減ると思う。
- 鶴岡中央高校、加茂水産高校、庄内農業高校の統合校は、多くの特色を併せもつので大変だと思った。
- 統合することによって、進路選択する上で複雑になった。豊富な選択科目、選択コース、可能性が広がる魅力があるが、具体性、先輩方の意見もなく選べにくい。選択できる学校が減るので、子どもの相談にどう答えたら良いのか分からない。
- 専門学科と普通科を一緒にして、高い進学率が目指せるのか疑問である。庄内中高一貫校（仮称）との差があまりに開くのではないかと心配である。進学について、充実した進学率を保てるような中間校が必要だと思う。
- 新しい場所へ校舎を建て直すべきではないかと思う。削減のイメージの方が強いのが本音である。また、私立高校がバスで送迎している中では、かなり厳しい。今の私立高校の青田買いの現状を変えないと厳しい。例えば、学力の危機感をアピールすべきではないか。
- 県立高校を減らすことにより私立高校に入る人が増えることは考えないのか。私立高校を一つ減らした上で、公立高校を減らしてほしい。少子化といわれる根本の理由は、増税や子育てしにくい社会となっているためであるのに、更に高校に入ってもお金がかかるのであれば、少子化を防ぐことはできないと思う。
- これから高校受験を考える自分の子は、たった四つしか選択肢がないのかと愕然とした。必要な再編であるのは理解するが、心中は複雑である。さらに特別支援学級の子どもの行き先は庄内総合高校しかないのか。学力の足りない子どもは行き先がないのか。特別支援学校と普通高校のはざまのグレーゾーンの子どものは、意外に多いと思う。
- 特別支援教育について、どの高校も受け入れるとのことであるが、学力面で困難になる場合もあると思うので、鶴岡南高校山添校にかわる学校は必要かと思う。
- 特別支援の必要な子ども達にもしっかり目を向けてあげてほしい。そのような子ども達にも未来はある。大人になってから発達障がいが見つかる人もいる。優秀な子ども達だけが特別にならないようにお願いしたい。
- 理想の高校像、美辞麗句が並んでいるが、発達の凹凸のある生徒に対応してもらえるのか。意見にもあったが、「そういう人は定時制に行ってください。」と言われているとしたら残念である。

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
7名	30名	1名	1名	12名	51名
14%	59%	2%	2%	24%	

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」への主な期待・意見・感想

- 地域の期待も大きいと思うので、なるべく早い時期に開校して、6年間のメリットを生かした教育をしてほしい。
- 開校が4月以降にずれた場合はどうなるのか教えてほしい。
- 開校年度がいつになるのか早めに知りたい。
- 計画を着々と進めてほしい。
- 適性検査に学力を反映させないでほしいとの意見があったが、普段学んだことがどの程度身に付いているかどうか判定する必要はあると思うので、説明していただいたような検査はしてほしい。
- 庄内中高一貫校(仮称)について、理解や考えを深めることができた。ただ、不安なのは適性検査。ある程度の学力検査は必要だと思うが、ありきにはなってほしくない。高校で能力を伸ばせるようなサポートを考えてほしい。
- 少子化であるので、ある程度やむを得ないとは思いますが、子を持つ親として、中学受験というのは、子どもにとって厳しいと思う。
- 受験競争が過熱化しない方法をとっていただきたい。
- 受験システムを含め、不明瞭であり、蓋を開けてみたら残念なことにならないか不安である。
- 庄内中高一貫校(仮称)に入学させたいと考えている「保護者だけ」に対する説明会を開いてほしい。子どもにとって良い学校にしてほしい。大人の難しい理屈は、子どもに関係ない。
- 各地域で、もう一度このような会を開いてほしい。(郊外、朝日、温海などでも、それぞれ説明会を改めて開いてほしい。)
- 今後も説明会があるかと思うので、もっと具体的な通学方法(バスの有無)や学習内容を教えてほしい。
- 都会との学力の差がないような再編で、子ども達の未来のためになるなら頑張ってもらいたい。
- 経済格差、ひきこもりや一人親家族など、社会全体の問題への不満を感じた。弱者の方の気持ちも分かるとは思うが、やはり進学校、他県に負けない人材を育成する学校が必要だと思う。
- 半分以上が高校から入学する生徒ということで、「一貫した教育」というメリットがあるのか疑問である。
- 中高一貫教育校の意義の第一に6年間の計画的・継続的な教育の可能性を挙げているが、実際に6年間の教育が受けられるのは半数程度の生徒であり、残り半数の生徒は学習深進度

に差が出る懸念があるため、丁寧な運営を願いたい。中学新設1～2年間の部活動（大会出場）について、部員の少ない部への配慮を願いたい。

- 庄内地区は高校が少なく、特色も限られているので、中高一貫教育校といっても、結局は地区で一番の進学校ということは変わらないと思った。
- 質疑応答を聞いていると、結局、成績重視なのだろうという印象だった。
- 計画の内容は理解できたが、この地域では適当なのか、質問する方の声を聞き、疑問に感じた。
- 中高一貫教育校開校に向けての準備（校是、カリキュラムなどの作成）は、現役教員が行うのだろうが、教員が減らされている現状では厳しいと思う。そのための増員などは考えているのか。再任用者が多い中では厳しいと思う。
- 鶴岡市内での普通科の高校の選択肢が少なくなり、少し不安も感じた。地域との関係性が薄れていく、郷土愛的なものは、どうなるのだろうかとも思った。
- 開校前、例えば鶴岡南高校に入学を希望していても、令和6年に3年生になる年に統合することを分かっている、つまり大学進学の方にバタバタすることを分かっている、鶴岡南高校を選択するのか、影響が出そうで悩ましいところである。

以上